

## 岩手・盛岡発の画像認識/人工知能ベンチャー「サイバーコア」、 米 Google、中 Malong などがパートナーを努め 2,261 チームが参加した画像認識の国際コンペティションで準優勝

岩手県盛岡市に本拠を構える画像認識/人工知能ベンチャーである株式会社サイバーコア（以降「当社」、代表取締役：阿部英志）の開発チームはこのたび、人工知能の国際カンファレンス「CVPR（Conference on Computer Vision and Pattern Recognition）」が主催した人工知能の国際コンペティション<sup>※1</sup>で2,261エントリー中準優勝という結果を果たしました。

毎年米ソルトレイクシティで行われる CVPR は、米 Google や、昨年ソフトバンクチャイナが2.2億元（約37.4億円）を出資した<sup>※2</sup> 中 Malong らがパートナーを務めており、国際大会での好結果を武器に、サイバーコアの躍進に期待が集まります。

### 2,261 チーム中 2 位という好結果

今回の CVPR のコンペティションは、こちらも米 Google や米 Microsoft がスポンサーを努める画像認識のワークショップ「FGVC(Fine-Grained Visual Categorization)」と共同で開催した「iMaterialist」と呼ばれるもの。

当社チームが参加した課題テーマはファッションで、データセットとして支給された1,014,544枚の写真から特定のアイテムやその色を識別し、228種類のラベル付けを行うというもの。採点は精度を競うスコア方式で、当社チームは一つのモデルで228種類のラベリングに対応できるユニークな手法を開発し、認識精度71%という高スコアを獲得しました。

今回のチームを率いた当社の海外エンジニアチームは「プログラミングは本を読んだり、他人のコードを自動的に消化したりしているだけでは身につけません。アイデアを試し、チャレンジで勝つためには、手が汚れるほどコーディングし続けることが大切です。」とコメントしています。

### 画像認識のトップリーダーを目指して

現在当社は、本拠地盛岡市に加えてベトナム・ホーチミン市にも拠点を開設し、国内20余名、ベトナム10余名の体制で画像認識/人工知能の国内外研究者を中心にチームを編成。ファクトリーオートメーションや自動運転、セキュリティなどの分野で独自のソリューション技術をクライアントに提供しています。

※1 コンペティション詳細 Kaggle <https://www.kaggle.com/c/imaterialist-challenge-fashion-2018/leaderboard>

※2 GloTechTrends <https://glotechtrends.com/along-tech-productai-171114/>

#### 本資料に関するお問い合わせ先